

# 石島会計メモ

平成25年3月号



中央区日本橋本石町  
3-3-15 田所ビル  
石島公認会計士事務所  
(03)3275-1311  
発行責任者 石島洋一

## 生命保険の思わぬ落とし穴



### ☆☆学資保険の例

学資保険（こども保険）は生命保険の一種であり、保険金を積み立てていくと、子供の教育資金が必要となる入学時期などに満期保険金や祝い金をもらうことができます。保険ですので元本割れのリスクはあるものの、親に万が一のことがあった場合の保障となることや、所得税の計算上「生命保険料控除」として税金を減らすことができることといったメリットがあります（保険会社から送付される生命保険料控除証明書は大切に保管しましょう）。

### ☆☆こんなつもりでは・・・

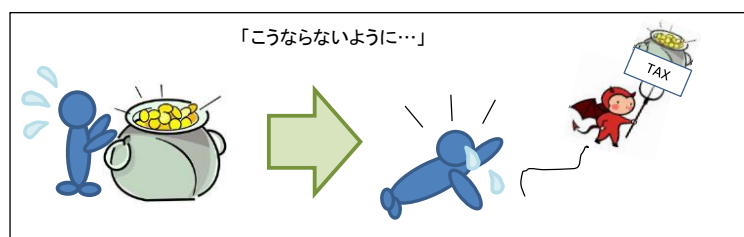
良いことが多いように思われる学資保険ですが、注意が必要です。通常、学資保険の保険料の支払いは、親（または祖父母など）が行います。この保険料の支払者と保険金の受取者が一致していれば問題ないのですが、そうでない場合が問題となるのです。

たとえば、保険料の支払いが親、保険金の受取人が子供になっている場合、子供は保険料の支払いなしに保険金を受け取ることができます。このとき、親から子供に対する贈与とされ、贈与税の支払い義務が生じてしまうのです。

保険証書の受取人欄が空欄になっている場合など、保険金の受取人が指定されていない場合も要注意です。その場合、「簡易生命保険法」によれば被保険者が受取人となると定められているのです。被保険者＝子供ですから、同様に贈与税が発生するおそれがあります。

「せっかく子供のためにコツコツと積み立てていたのに多額の贈与税を支払うなんて！こんなつもりでは・・・」

これは、学資保険に限らず保険全般に生じる問題です。保険を契約している方、これから契約する方は保険証書をよくご確認ください。ご不明な点がございましたら、石島会計までお問い合わせください。



# 感動の東京マラソンでした

## ～親子の並走に嬉しい声援～

今年の東京マラソン（2月24日）に所長、慎二郎、芦原、加藤の4「選手」が出演、所長と慎二郎はスタートからゴールまで親子で並走、「（マラソンだけは）駄目親父」「（今日だけは）孝行息子」のユニフォーム文字に、ものすごい声援を頂きました。

沿道で「駄目親父、頑張れ！！」と大きな声が飛ぶと、周りに大きな笑いとお声援、「孝行息子」に対しては「今日だけじゃダメだぞ」と有り難い声援（誰が有り難い？）。中には「孝行親父！！」という声も。ん、孝行親父？？

親子で3年連続3回目の出場ですが、ゴールまでの親子並走は初めて。そのため、慎二郎のタイムは昨年より2時間も悪いものでした。よほど調子が悪かったのでしょうか？でも、人生の中でも、最高に楽しいひとときでした。



## ～予想外の全員完走～

芦原は最後まで歩かずに完走、目標を達成しました。「来年も出たい。連続当選は難しいだろうから、抽選で外れても皆さんからの寄付で出場したい」と、あり得ない寄付への期待も（この寄付金が税務上の損金になるかどうかは石島会計あて、ご相談ください）。

また、バス（収容車）の予約をしたはずの加藤も、予想外の時間内完走。「つらかったけれど、来年も出られれば…」とこちらもマラソン中毒の症状。先月号でご紹介したエムエヌスタッフさんの佐藤社長夫妻も完走、夫婦仲良くゴールしました。強風の中でのマラソン大会でしたが、楽しい時間を「長時間」過ごすことが出来ました。

本コーナーでは約半年間、特集を組んで参りましたが、多くの方々から、激励を頂きました。深く感謝申し上げます。来年また、より多くの顧問先の方々が参加され、本コーナーでご紹介できるのを楽しみにしております。参加される方は是非ご連絡ください。

（文章 石島洋一）

# 元気な会社紹介

～ビジネスの潤滑油となる企画製作会社～

## 株式会社ビー・クリエイティブ・ビー

今回は、2004年6月1日に創業し、現在社員5名でスポーツビジネスを盛り上げている企画製作会社のご紹介です。

### サッカーの世界との出会い

代表取締役である佐藤克彦社長は、サンスクリット（インドの言語）を研究するため、1994年からオランダへと渡りました。そして研究が終わりに近づいた頃、ひょんなことからサッカーの仕事が舞い込んできました。それは、雑誌の原稿作成、プロサッカー選手へのインタビューでした。その後も翻訳、テレビのコーディネーターをこなし、オランダの放映権を取得するまでに至ります。

それから10年以上経った今でも、このオランダでの人脈からつながり、社長はサッカーの世界で生きることになります。



佐藤克彦社長

(カシマサッカースタジアムにて)

### アントラーズ公式サイトも！

株式会社ビー・クリエイティブ・ビー（以下、「BCB」）は、広告の企画製作を行っています。特徴的なのは、サッカーを中心としたスポーツビジネスで実績を上げていることです。

主なところでは、鹿島アントラーズやアルビレックス新潟の公式サイト、さらには柏レイソルのオンラインショップを任されるなど、一般的にもよく知られた有名Webサイトを手がけているのです。さらに、サッカーチームのスポンサーというつながりでNTT東日本「フレッツ光」の販売促進ツールを企画・製作するなど、サッカー以外の一般企業相手にも活躍の場を広げています。



← サッカーチーム公式サイトには選手の最新情報が！

→ サッカー以外の企業サイトも企画・運営



## 震災を乗り越える力を



今年3月11日、東日本大震災から2年となりました。佐藤社長は震災後、サッカーを軸とした社会貢献事業をスタートします。鹿島アントラーズのWebサイト製作で親交をもつようになった小笠原満男選手を始め、同チームの柴崎岳、ガンバ大阪の今野泰幸など、東北出身の現役プロサッカー選手が構成する有志団体「東北人魂を持つJ選手の会」の事務局運営を始めたのです。

これは、小笠原選手らが「東北サッカーを復興させよう！」と有志団体を立ち上げようとした時に、佐藤社長が同じ東北出身という地の縁から事務局運営を任されたと言います。現在は、小笠原選手が高校時代を過ごした岩手県大船渡市に、「子供達が思いっきり運動できる場所を作ろう！」と、仮設グラウンドを建設するプロジェクトにも関わっています。

## 仕事をつなぐ仕事

佐藤社長がオランダでサッカーの世界と出会い、サッカーの仕事に携わる中で得た広告、情報発信ノウハウは一般企業のビジネスでも活かされており、BCBではWebサイトをはじめDVDなどの映像製作や、販売促進ツールの企画・製作等も営んでいます。

BCBの社是は、「人と人、ビジネスとビジネスをつなぐための潤滑油であること」と佐藤社長は言います。また、「小さいながらも他社との差別化を図っている当社ですが、『WEBサイト、広告どうしようかな』、『サッカー選手と何かイベントを行いたい』、『スポーツビジネスの話を聞いてみたい！』という方がいらっしゃるなら、ぜひご一報いただきたいです。皆さまとお仕事を一緒にできることを心から願っております。」と言います。

これは、広告の仕事というよりも、つながりを作りたい、大切にしたいと考える社長の姿勢の表れではないでしょうか。情報発信が非常に重要な昨今、佐藤社長そしてBCBのつなぐ力には大いに期待したいところです。

**B CREATIVE B**

株式会社ビー・クリエイティブ・ビー

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-1-9

日本橋Tビル

電話 03-6661-7071

佐藤克彦氏に面会希望等ある方は、石島会計宛ご連絡下さい